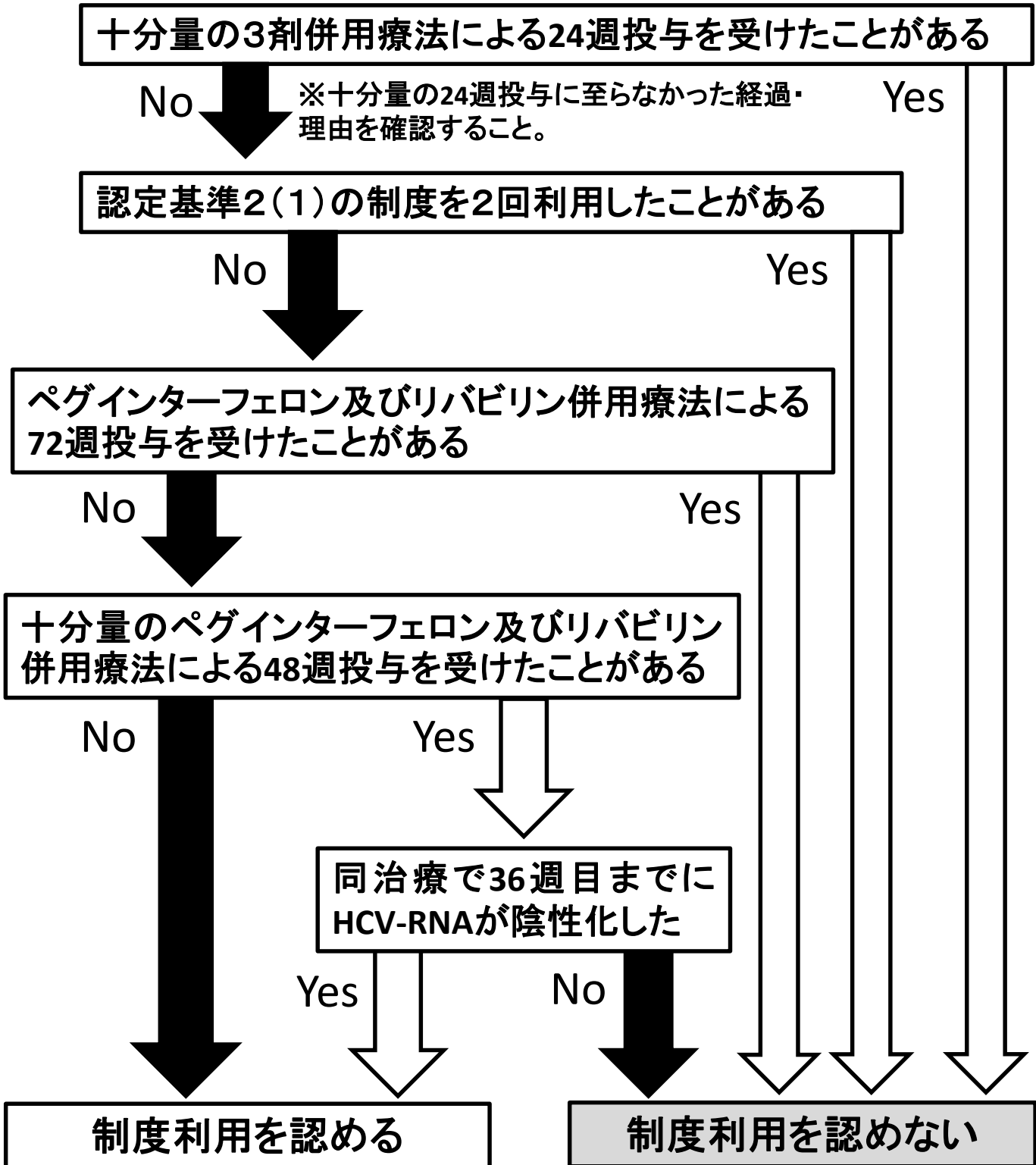


フローチャート(個別)

フローチャート1

3剤併用療法を実施済みの患者（中止例を含む）の 認定基準2（1）の制度利用に係る取扱い



フローチャート2

認定基準2（1）の2回目の制度利用に係る取扱い

「HCV-RNA陽性のC型慢性肝炎及びC型代償性肝硬変で、肝がんの合併のないもの」に該当する。

Yes

No

ペグインターフェロン及びリバビリン併用療法による72週の投与を受けたことがある。

No

Yes

十分量のペグインターフェロン及びリバビリン併用療法による48週投与を受けたことがある。

No

Yes

同治療で36週目までにHCV-RNAが陰性化した。

Yes

No

2回目の制度利用を認める。

2回目の制度利用を認めない。

フローチャート 3

ペグインターフェロン及びビリバビルン併用療法の助成期間延長（72週投与）に係る取扱い

セログループ（ジェノタイプ）1型かつ高ウイルス量のC型慢性肝炎に対するペグインターフェロン及びビリバビルン併用療法である。

Yes

No

十分量のペグインターフェロン及びビリバビルン併用療法による48週投与を受けたことがある。

Yes

No

今回の治療が「投与開始後12週後にHCV-RNA量が前値（※）の1/100以下に低下するが、HCV-RNAが陽性（Real time PCR）」に該当する。
※ 前値：治療開始約半年前～直前までのHCV-RNA定量値。

Yes

No

今回の治療で36週目までにHCV-RNAが陰性化した。

Yes

No

助成期間の延長を認める。

助成期間の延長を認めない。

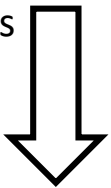
フローチャート 4

ソホスブビル+リバビリン併用療法を用いたインターフェロンフリー治療に係る取扱い

セログループ（ジェノタイプ）2型の場合

HCV-RNA陽性のC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変（Child-Pugh分類A）で、肝がんの合併のない者である。

Yes

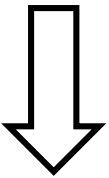


No



投与期間は12週間である。

Yes

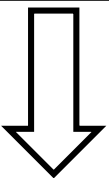


No



併用するリバビリン製剤はレベトールカプセルあるいはコペガス錠である。

Yes



No



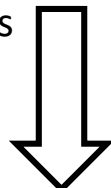
制度利用を認める。

制度利用を認めない。

セログループ（ジェノタイプ）1, 2型以外の場合

HCV-RNA陽性のC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変（Child-Pugh分類A）で、肝がんの合併のない者である。

Yes

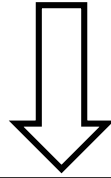


No



投与期間は24週間である。

Yes

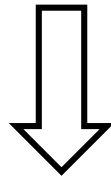


No



併用するリバビリン製剤はレベトールカプセルあるいはコペガス錠である。

Yes



No



制度利用を認める。

制度利用を認めない。

フローチャート5

グレカプレビル・ピブレンタスビル配合錠を用いた インターフェロンフリー治療に係る取扱い

セログループ（ジェノタイプ）
1, 2型の場合

HCV-RNA陽性のC型慢性肝炎又はC型
代償性肝硬変（Child-Pugh分類A）
で、肝がんの合併のない者である。

Yes

No

制度利用を認めない。

慢性肝炎である

Yes

No

（代償性肝硬変）

投与期間は8週間である。
（再治療の場合は12週間でも可）

投与期間は12週間
である

Yes

No

制度利用
を認める。

制度利用
を認めない。

制度利用
を認める。

制度利用
を認めない。

セログループ（ジェノタイプ）
1, 2型以外の場合

HCV-RNA陽性のC型慢性肝炎又はC型
代償性肝硬変（Child-Pugh分類A）
で、肝がんの合併のない者である。

Yes

No

投与期間は12週間である。

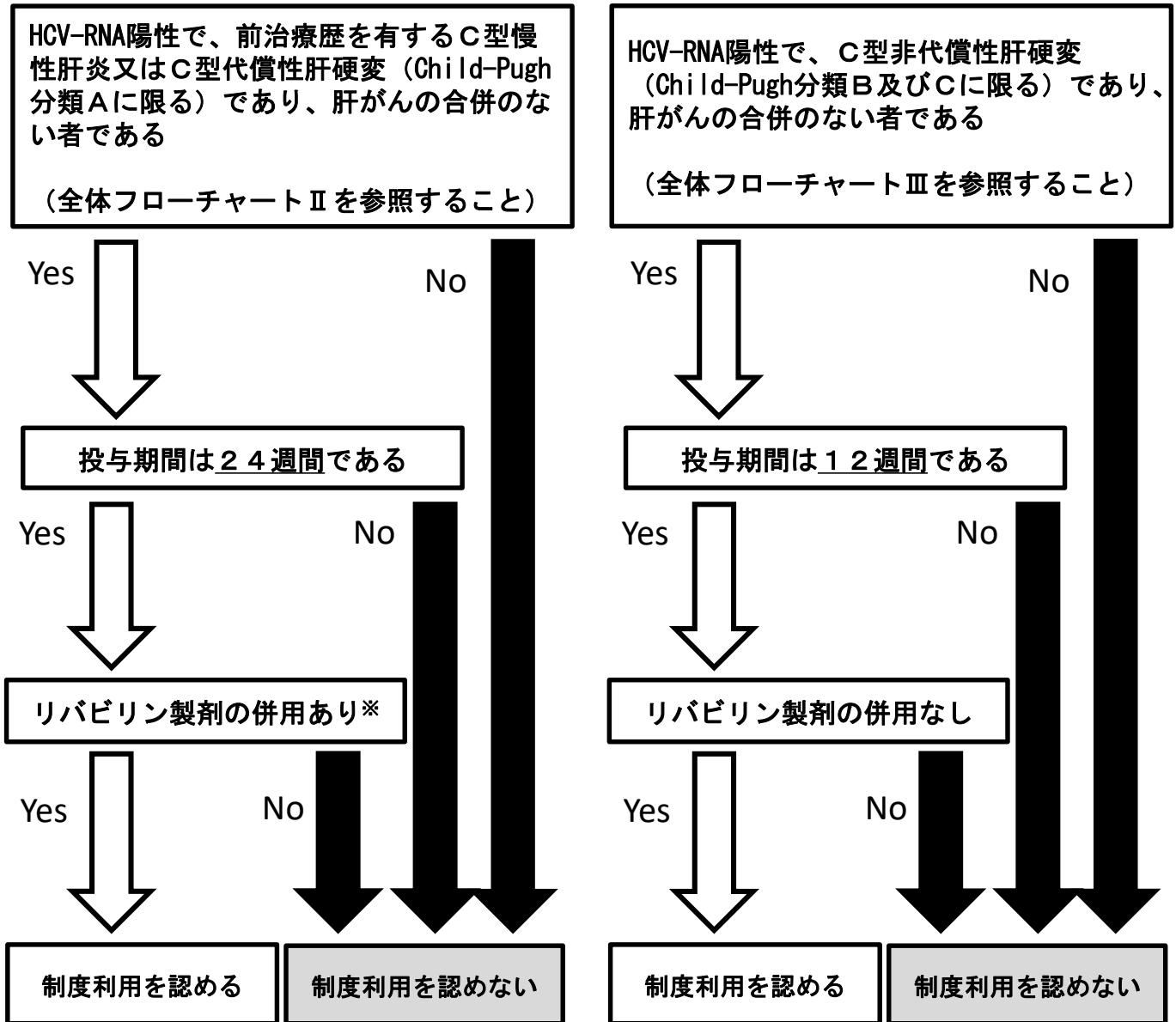
Yes

No

制度利用を認める。

制度利用を認めない。

フローチャート6 ソホスブビル/ベルパタスビル配合錠を用いた インターフェロンフリー治療に係る取扱い



※「ソホスブビル・ベルパタスビル配合剤との併用による、前治療歴を有するC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善」の効能・効果を有するリバビリン製剤はレベトールカプセルのみである。
(平成31年3月時点)